

11月23日は
勤労感謝の日



看護部教育新聞 秋号



看護副部長便り ~A letter from mustuko~



急に寒くなり、秋を飛び越して冬の到来か・・・こんにちは、看護部の森です。
コロナが少し落ち着いて街の賑わいも少し戻ってきましたね。みなさん、いかがお過ごしですか。
まだまだ“密は避けて”“油断しないで”と悩ましいですが…息抜きも必要です。
そこで、河口湖自然生活館の大石公園に「紅く染まったコキア」を見に行きました。去年から、今年
は絶対見に行くぞと決めていました。



日々、あれは？これは？どうしたらいいのかと考えることばかり。心が病んでいた私（笑）
湖と富士山の両方とコキアを一度に眺めることができる絶景に癒されてきました。
みなさんは、心のリフレッシュできていますか。仕事とプライベートは、どちらも大切です。でもバランス
を保たないと、「感情労働」の私たちは、潰れてしまいます。院内には、メンタルヘルス委員会、臨床
心理士さん、吉田先生（産業医）など相談する場所があります。何かあればご相談ください。
それでは、今年もあと2か月ですが気疲れが溜まらないようご自愛ください。



フラッシュー看護・介護技術演習内容をご紹介します～

看護技術演習 全7回の看護技術演習が終了しました。①「吸引・酸素」②「点滴管理・ポンプ」③「採血・経管栄養」④「導尿・カテーテル管理皮下・筋肉注射」⑤「12誘導心電図・検体について」⑥「心電図モニター・人工呼吸器管理」⑦「麻薬・輸血管理、CV挿入」でした。他部署の検査技師さんや臨床工学技士さんにも講師をして頂き、ありがとうございました。技術だけではなく、知識を確実にしていくために確認テストを実施し、患者さんの気持ちに寄り添うことができるよう、患者体験も行いながら取り組みました。これからの成長が楽しみです♪ ※テスト希望者は教育まで！！



昨年度はコロナ禍でできませんでしたが、今年は介護技術演習「らくらく介護」が開催できました～！
講師はキネステイクのファシリテーターの資格を持つ鈴木龍司係長。患者さんにとっても職員にとっても「安全で安楽」な介護技術の習得を目指し、現場での介助を振り返りながら移乗動作やポジショニングなどを学びました。
これからも「心優しい手」で介護ケアを提供し続けてほしいです♡



介護基礎研修の内容をご紹介します～

2018年から開始となった介護職員基礎研修も今年で4年目となります！今の介護現場は、外国の方や高校卒業後に働く若者、中高年齢の元気な方など、多様な人材が介護の仕事に参入できるようになってきています。誰が働いても、お互いに気づきや学びを深めることができる学習環境を整えていくために、今後も介護職員基礎研修を盛り上げていこうと思います！今年も、介護教員の資格がある6名（篠原さん、鈴木大輔さん、岩吉さん、三須さん、足立原さん）が主となり、介護教育専従と一緒に研修を企画し実践しています。10月の未経験者コース「自分を振り返ることができる」をテーマとした研修を受講した鶴巻温泉病院の未来ある若手職員の写真がこちら→→です。

11月23日の研修では、講師も教員チームのエース三須さん・鈴木さんの2名が行います。経験者コースは「記録」、未経験者コースは「コミュニケーション」です。受講者の方は楽しみに～！対象の職員がいる病棟の先輩たちは研修でどんな気づきや学びがあったか聞いてあげてください！これからもヨロシクお願いします！ 2階西病棟 富樫 健人

研修に参加してみてくださいか？



自分が思う仕事についてもう一度見つめ直すことができました

自分の思っていることを表現することができました

教育委員会メンバーを紹介します～パート2

4南科長の下田 優子です。

芸術の秋、ここで一句！

仕事 中 スマホで検索 当たり前

仕事にスマホを見るなんて！っていている方たちは昭和ですな。

今はスマホが学習ツールの1つなのです。

若手看護師はわからない内服薬はその場ですぐ調べています。

私は、薬の本で調べちゃうな

時代の流れについていけてますか？（私だけ…？）

鶴巻も古い…？

靴下・靴は白っていうことも実は古いのかも…？

令和時代の鶴巻温泉病院をみんなで創造しよう！



2東科長の梁川です。

私は災害看護・介護の研修を担当しました。

そのため、今年度は、災害看護・介護についての自己学習に取り組んでいます。

皆さんにお願いしたいことは、「自助」まずは自分の命を守る！

自宅の安全対策は？ 備蓄は？ 家族間の取り決めはしていますか？ 備蓄なんて、何をどのくらい用意したらいいの…

そんな時は、「まちケア」アプリが便利です。自宅の災害リスクや備蓄の管理ができるようになっています。

ぜひ、活用してみてください。まずは、「自助」ここから災害看護・介護をはじめませんか？



加藤科長からのメッセージ

【速報 2022年度からクリニカルラダーがリニューアルします】
クリニカルラダー委員会では2022年度導入に向けて、新たなクリニカルラダーを作成しています。看護師は看護協会のクリニカルラダーを採用し、介護福祉士は介護福祉士会の「求められる介護福祉士像」などを参考に開発しました。クリニカルラダーに含まれないその他の能力は「つまき版キャリアラダー」略して「つまカリ」を作成し、ラダーレベルはⅠ～Ⅴとなります。現行からのレベル移行がありますので、ご承知おきください。

お気軽にどうぞ～
教育ルーム
☎:711663



おすすめeラーニング!!!

クリニカルラダー申請が始まりますね。皆さま、課題となるeラーニングの視聴はお済でしょうか？何を観たらいいのかわからない方はいますか？わからない時は「看護部 継続教育」というオレンジのファイルに載っていますので、確認をしましょう。もちろん、eラーニングシステムの最初の画面に課題テーマが出ていますので、そちらからでもわかります。遅くとも11月中に視聴するようにしましょう。